

どこでも聴覚ケア

遠隔調整サポートシステム

どこでも聴覚ケアに必要なもの

補聴器販売店 :

Inspire X 2019.0 以降

聴覚ケアダッシュボード (クラウド)

インターネット接続

補聴器ユーザー :

Thrive (スライブ) アプリ

Livio AI / Livio 補聴器

iOS / アンドロイド端末 インターネット (電話回線あるいはWiFi)

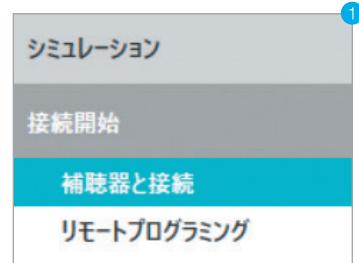
接続開始

聴覚ケアダッシュボードを使用するには、店舗でログインできるようにしておく必要があります。

- 1 パソコン画面右下のシステムトレイにある耳マーク  をダブルクリックします。アイコンが見当たらない場合は、Inspire を立ち上げて、リモートプログラミング画面を開きます。
- 2 【ログイン】をクリックします。
- 3 すでにログインに必要な情報が登録されている場合は、パスワードを入力します。組織の登録が済んでいない場合は、【セットアップの開始】をクリックし、手順に従います。

参考：聴覚ケアダッシュボードには便利な自動ログイン

機能がありますので、ご利用ください。



Inspire上の設定 :

補聴器を遠隔調整するために「リモートプログラミング」を有効にする

- 1 Inspireを開き、ご使用になられるユーザーのLivio AI / Livio 補聴器を読み込みます。
- 2 左側のナビゲーションメニューから「フィッティングサマリー」をクリックします。「ステータス」から「リモートプログラミング」をクリックします。



- ③ リモートプログラミングの横にあるチェックボックスをクリックします。クリックすると、リモートプログラミングに関するユーザー同意書が表示されます。リモートプログラミングを有効にするために、【承諾】をクリックします。

- ④ アイコンをクリックして、リモートプログラミングの暗証コードを自動生成します。生成された暗証コードは補聴器ユーザーのThriveアプリに入力する必要があります。



補聴器ユーザーに暗証コードをお伝えするには：

- デバイスガイドを印刷する。
- お使いになられるThriveアプリに暗証コードを直接入力する。
- メモなどの紙に書いて渡す。
- 電子メールなどに記入して送信する。

注：暗証コードは生成後3日間有効です。

失効後や何らかの事情で読み込みができなかった場合など、暗証コードは何度でも再発行することができます。



Thriveアプリ上の設定：

クラウドサービスにサインインしてサポート依頼のリクエストを送信する

Livio AI / Livio の補聴器ユーザーが補聴器販売店で対応する専門スタッフと通信できるようになると、Thriveアプリからサポート依頼のリクエストを送ることができます。

お使いのスマートフォン*にThriveアプリをインストールした後、補聴器をペアリングします。

クラウドサービスを利用するためには、アカウントを作成してサインインしておく必要があります。

補聴器ユーザーと補聴器販売店の専門スタッフがつながるには

- 補聴器ユーザーのスマートフォンからThriveアプリを起動します。
- ホーム画面左上の アイコンをタップして設定メニューを開き、次に【どこでも聴覚ケア】をタップします。
- 【(補聴器) 専門スタッフの追加】をタップします。【(補聴器) 専門スタッフの追加】が表示されない場合は、Inspireでリモートプログラミングが有効に設定されていないことを意味しています。
- Inspireで自動生成された暗証コード(6桁)を入力し、【送信】をタップします。

画面に「接続先」が表示されたら設定は完了です！補聴器ユーザーはリクエストが送信できるようになり、対応される専門スタッフが提案する調整内容を受け取ることができます。リクエストの送信はとても簡単であることを、お客様にお伝えいただけます。



* 現在、一部のスマートフォンはThriveアプリに対応しておりません。お使いのスマートフォンが互換しているかどうかは、ホームページ (<https://www.starkeyjp.com/hearing-aids/thrive-hearing/smartphone-compatibility>) からご確認いただけます。

サポート依頼（ヘルプ）リクエストを送る

- ① 補聴器ユーザーがスマートフォン*からThriveアプリを起動します。
- ② ホーム画面左上の≡アイコンをタップして設定メニューを開き、[どこでも聴覚ケア]をタップします。
- ③ [新規リクエストの送信]をタップします。
- ④ 次の画面で、サポート依頼の手順が説明され、開始する前の確認事項が表示されます。[次へ]をタップして進みます。



- ⑤ Inspireでセルフチェックの基準値が測定されている補聴器の場合、ここで補聴器を構成している部品の診断テストを行うことができます。[診断開始]をタップします。診断テストが完了すると、[次へ]をタップして進むことができます。
- ⑥ どのようなことでお困りか問題点を選択し、[次へ]をタップします。



- ⑦ それはどのようなことやどのようなときに気になるかを選択します。回答は複数選択ができます。[次へ]をタップします。
- ⑧ ○をスライドして、どのくらいお困りかの深刻度と発生している耳側（左右どちらか、または両耳）を選択します。最後に、問題が発生するメモリーをすべて選択して、[次へ]をタップします。
- ⑨ 補聴器ユーザーがお名前（フルネーム）を入力します。お名前の入力は最初のリクエストのときだけ必要です。伝えたいことをメッセージ欄に入力することもできます。[送信]をタップすると、リクエストが専門スタッフに送信されます。



聴覚ケアダッシュボード：リクエストの受信と管理

聴覚ケアダッシュボードはログイン状態を維持することができるため、パソコンを立ち上げた時にはすぐに対応できる準備が整っています。聴覚ケアダッシュボードは、ログインさえしていれば Inspire が起動していない時でも新規のリクエストが受信できる個別のアプリケーションです。ログアウトした場合は、システムトレイにある **どこでも聴覚ケア** のアイコンをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます。ログインすると、新規リクエストを受信できます。

聴覚ケアダッシュボードのアイコン：



ログイン状態

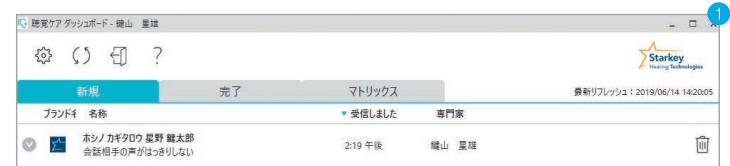


ログイン状態で新規リクエストが届いている



ログインしていない

- 1 聴覚ケアダッシュボードのアイコンをダブルクリックして、「新規」タブを選択して、新規リクエストを表示させます。聴覚ケアダッシュボードは、次の手順で起動させることもできます：Inspire ⇒ 接続開始 ⇒ リモートプログラミング ⇒ 新規リクエストを開く



- 2 リクエストをクリックして、詳細な情報を表示します。



③ フィッティングの開始をクリックします。

注: 対応したい補聴器ユーザーを選択しても画面下部の[フィッティングの開始]ボタンが表示されない場合は、補聴器ユーザーのデータベース(例: Noah)を開き、データベースから同一の補聴器ユーザーを選択するようにしてください。そして、Inspireを起動し、[接続開始]の下にある[リモートプログラミング]をクリックし、その後[リモートセッションの読み込み]をクリックしてください。



④ Inspire上で補聴器ユーザーからリクエストされた内容を基に微調整を行います。必要に応じて、複数のメモリーを微調整します。

参考: メモリーの追加設定オプションで「連結」を行うと、複数のメモリーを同時に微調整することができます。

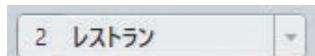
⑤ リクエストの詳細を表示するには、右上隅にある「どこでも聴覚ケア」の文字の上にカーソルを乗せます。

注: 微調整を行っているメモリーが、リクエストされた目的のメモリーであることを必ず確認するようしてください。メモリーをクリックすると調整を行なうメモリーとして選択されます。

選択されたメモリー

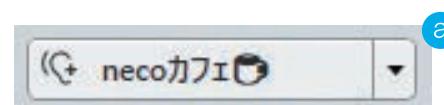


選択されていないメモリー



カスタムメモリーを調整するには:

- カスタムメモリーの一覧からリクエストされたメモリーネームを選択します。
 - メモリーバーのカスタムメモリーネームが一覧から選択した名称に変更されます。
- クリックして「選択中」にします。



⑥ 保存アイコンをクリックする。



- ⑦ 使用している「データベース」に調整した内容に関する記述を残すことができます。データベースに保存を選択します。「リモートプログラミング」では、調整依頼をされたお客様（補聴器ユーザー）に伝えたい内容を入力して、Thriveアプリに表示させることができます。必要に応じて、メッセージを編集します。【保存】をクリックするとリモートセッションがデータベースに保存され、Thriveアプリに提案する調整内容が送信されます。



Thriveアプリ：提案された調整内容を現行の音質と聞き比べる

- ① Thriveアプリに通知が表示されます。
- ② 設定メニューのアイコンをタップして開き、「どこでも聴覚ケア」をタップします。
- ③ 「保留リクエスト」をタップします。
- ④ 「新規設定」をタップします。

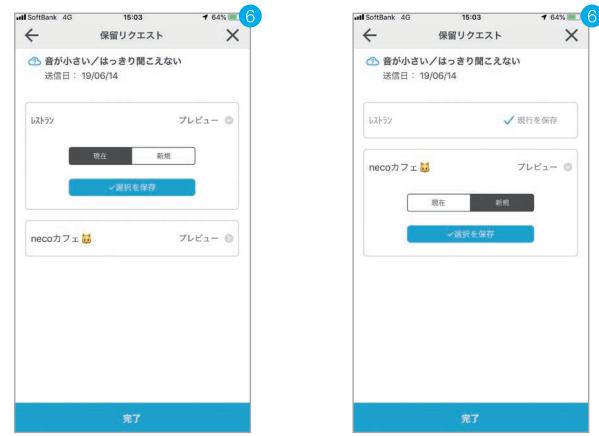
- ⑤ 調整をリクエストしたメモリーネームが表示されます。各メモリーをタップして確認を行います。
注：提案された調整内容と現行の音質と聞き比べるために、この時、補聴器を装用しておく必要があります。



- ⑥ [現在]と[新規]を切り替えて、現行の音質と新たに提案された調整内容を聞き比べます。[選択中の設定を保存]をタップして、好まれる方の設定を補聴器に保存します。[現在]と[新規]のどちらかを選び、リストにあるすべてのメモリーで[選択中の設定を保存]しない限り、保留リクエストは完了されません。お客様が新規リクエストを再び送信することはできませんので、ご留意ください。

注: 双方の設定の聞き比べに時間制限はありません。好きなだけ[現在]と[新規]を聞き比べることができます。

参考: 時間制限がないことから、実際にお困りになられた環境での聞き比べをお勧めすることもできます。実際の環境で設定を比較し、好まれる方を設定していただきます。



聴覚ケアダッシュボード：ステータスを確認する

聴覚ケアダッシュボードでは、遠隔調整サポートの履歴を簡単に確認することができます。「ステータス」から、対応したお客様が提案した調整内容を検証中である、または新規設定として採用したか、しなかったかがすぐに確認できます。また、お客様が何も試されていないことも「ステータス」から確認することができます。

- ① [完了] タブをクリックして、ステータスを確認します。

参考: カーソルをステータスアイコンに置くと、簡単にステータス情報が見ることができます。

- ② 個々のリクエストをクリックすると、詳細内容が表示されます。

- ③ 必要に応じて、完了したリクエストを削除してください。



聴覚ケアダッシュボード：評価マトリクス

遠隔調整サポートのシステム管理者は、聴覚ケアダッシュボードに「(評価) マトリクス」タブが表示されます。デフォルト設定は、過去30日以内の組織(販売店全体)のデータが表示されます。

- ① データの設定期間を選択して表示させることができます。
- ② 各店舗の所在地別、グループ(例えば、地域やエリア)別、対応する補聴器専門スタッフ別にデータを抽出して表示することもできます。

